@café

@cafeでは大森にまつわる「ひと」をクローズアップ。編集部がその素顔に迫ります。

大田区山王の住宅街に突如現れる「山王オーディアム」。住宅街と馴染んだその雰囲気は、とてもコンサートホールとは思えない。

運営者の一人である武藤令子さんは女優として活躍している。演じる側の観点が加わって、誰もが手軽に利用できる、「身近」なコンサートホールが生まれた。（取材・文＝毎川直也）

演じる舞台は「身近な住宅街」

第37回　山王オーディアム　むとう・れいこ

武藤令子さん

山王オーディアムで。若い人々に生の音楽に触れてほしいと語る。（撮影：髙道智子）

今回の取材は、9月11日、ダイシン百貨店内のJCN大田オオモリノモリスタジオで公開取材として行われました。当日の模様が「JCN大田チャンネル」で放送されます。

2013年11月7日(木)
「デイリー大田」内にて放送！
18:00（初）～/19:30～(再)
/20:30～(再)/21:30～(再)
/23:30～(再)/翌6:15～(再)
/8:30～(再)

@女優は人間修行

武藤令子さんは兵庫県宝塚市出身。1歳半の時に大田区山王に引っ越してきた。母親がピアノの教師、祖父はチェロが趣味、祖母は三味線をたしなむ芸術一家で、幼少期から芸事に触れてきた。歌舞伎や音楽会に行く機会も多かった。そんな環境の中でも、お絵かきが好きなおとなしい子どもだったという武藤さん。ピアノの練習は好きではなかったが、発表会では緊張せずに自分の舞台を楽しんでいた。

そうした体験が女優の仕事と結びつくのは、進路を考えていた高校2年のとき。劇団東宝ヴォードヴィルショーの『夢なかば』という舞台を観たことがきっかけだった。以前から芝居はよく観に行っていたが、職業として女優になりたいと初めて感じたのがこの芝居だったという。「感動させられたことになぜか悔しさを覚えました。感動させる側になりたい」と思った武藤さん。その後、桐朋学園大学短期大学部演劇科を受験し、芝居の道に進んだ。入学後は毎日演技の実習。時間を見つけては映画や芝居をとにかく観た。

卒業後は縁あって事務所に所属できたものの、女優業とアルバイトを掛け持つ日々。キャンペーンガールのアルバイトや、議員秘書の仕事を経験した。「決まったお給料もないし、明日の仕事を考えて何を見てどうごすか。女優という仕事は人間修行そのものだと思っています」と武藤さんはいう。

保護樹林が茂る庭

@「身近な」コンサートホール

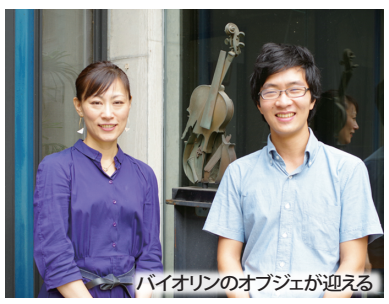
山王オーディアムは1989年につくられた。建築設計を担当したのは、建築家の室伏次郎さん。モダンな建築を得意とする建築家で、武藤さんの母親のテニス仲間だ。

「子供のための（幼稚園・保育園）マリンバ音楽会」
（写真提供：山王オーディアム）

コンセプトは「普通の住宅としての風景のなかで一瞬の想像力の飛躍」の場。住宅街の雰囲気を崩さない庭には保護樹林が残されている。樹木を景観に活かして建築してほしいという、祖父の願いを実現したものだ。建物内部は、高さのあるアーチ型の天井を設え、窓から太陽の光が差し込む。建物内部に自然が顔をのぞかせる、建物と自然が調和した空間だ。

今まで開催した中で、特に印象に残っているコンサートは、2012年3月に山王小学校の児童と家族を招いて催された、卒業記念のブラスバンドの演奏会。校庭で予定していた演奏会ができなくなった子どもたちに、山王オーディアムを開放した。子どもたちが一生懸命演奏する姿に感動した武藤さん。「日本人はホールに音楽を聞きにいくことに敷居の高さを感じている。身近にコンサートホールがあることで、その認識を変えることが出来る」と思ったという。

その思いを形にしたイベントが「Let's enjoy music!!」子供のためのコンサート未来につなげたい日本のうた・世界の音楽」だ。武藤さんの甥っ子が通う幼稚園のお母さんの発案だという。気軽に散歩がてら来てもらい、親子で音楽を楽しめる工夫をした。子供が飽きてきても大丈夫なように、会場の出入りは自由に。子供になじみのある選曲で、演奏はプロが奏でる生の音楽。親子で楽しめる「身近」で本格的なコンサートが形作られた。


バイオリンのオブジェが迎える

「今後開催したいのは、大森に縁のある小説家や詩人の作品朗読会などの企画ですね。大森の歴史を知るきっかけにしてほしい」と目を輝かせて語る武藤さん。

大森という地域、山王オーディアムという舞台、そして武藤さんの発想。それは音楽という枠を超えて地域の文化、歴史までも「身近」にする。

「コンサートホールの常識にとらわれない、利用者の思いが活かされた独創的な場所になってほしい」という武藤さん。そうした場に携わることで武藤さん自身の女優としての「人間修行」にもなるという。

地域の人々のための「身近なコンサートホール」。山王オーディアムには、そうした運営者の思いが込められている。

DATA
山王オーディアム
大田区山王1-14-7
03-3774-1571
（申込受付）13:00~18:00
http://www.sannoaudium.com/top.html

4面のご案内

★ ひと
まちで出会った、頑張っているひとの素顔に迫ります。次はあなたかも…？

NO.36 2013年8月 蓮沼勝浩さん［じてんしゃ屋はすぬま 店主］
NO.35 2013年4月 村岡美枝さん・村岡恵理さん［翻訳家・作家］
NO.34 2013年1月 庄嶋孝広さん［市民社会パートナーズ 代表］
NO.33 2012年10月 加藤美登利さん［助産師］

バックナンバーはウェブで！ www.oomori-cafe.com

［編集後記］■山王 Coco 商店街に引っ越して早半年。商店街と連携した楽しい企画がたくさん生まれつつあります！商店街を歩く時は是非「上を向いて」歩いてください！■創刊時からの企画「まちあるき小ネタ」がとうとう最終回に。ご愛読？いただきました皆様ありがとうございました！次号からの企画をお楽しみに！（お）

[STAFF]
Publisher / Editor in chief　鵜飼 修
Advertising　江上智子
Writer　猪瀬雅子・武藤花奈(1) 山田智士(2) 丸本文恵(3) 毎川直也(4)
Illustrator & DTP Operator　池田英子 髙道智子
Special Thanks　町田あゆみ たかだあや

大森まちづくりカフェ 第37号 2013年ふゆ号
［発行］2013年11月1日（年4回 季刊）
［配布］大森を生活圏とする地域に20,000部
［発行］特定非営利活動法人大森まちづくりカフェ編集部
〒143-0023 東京都大田区山王3-27-6
tel/fax：03-5935-7881 アンケートの宛先はこちら！
email：office@oomori-cafe.com
［印刷］有限会社三平印刷所
東京都品川区大崎 1-10-1☎ 03-3493-4911
Unyo! http://www.u-nyo.com/

次号は2014年2月1日発行予定です

じてんしゃ屋 はすぬま
http://hasunuma.pixy.cx

11月新装開店
オープンSALE!!
〒143-0024 大田区中央6-30-4
TEL 03-5700-5233
池上通り 税務署前 バス停前

東京弁護士会 所属
藤岡毅 法律事務所
弁護士 藤岡毅（ふじおか つよし）
大森まちづくりカフェを応援しています
当事務所は
「一人ひとりに誠実に」
をモットーに、市民、中小企業の皆様のお悩み、ご相談に丁寧に対応させていただいております。

『まちカフェ見ました』で、初回相談を半額割引します。
お問い合わせ・ご連絡先
TEL:03（5297）6101
〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1丁目3番地第9NSビル9階
東京メトロ淡路町駅徒歩２分
HP:http://www.fujiokatsuyoshi-law-office.com/

手ぶらでレッスン！
音楽デビュー
お試し体験レッスン 1回￥1,000-

ボーカルトレーニング教室
女性に大人気！
アコースティックギター教室
POINT 1 お仕事帰りに… 学校帰りに… 楽器がなくても大丈夫！
POINT 2 思い立った時がスタートです。 いつでも入会 OK！
POINT 3 習いたいものがきっと見つかる。 25のオリジナルレッスン！
「まちカフェ見た」で 入会金 50%OFF
●大森まちづくりカフェを応援しています
スター楽器 ミュージック スクエア カマタ
MUSIC SQUARE KAMATA
〒144-0052 東京都大田区蒲田5-11-7
JR蒲田駅前 徒歩1分
03-3738-2022 休/祭日
ミュージック スクエア カマタ 検索